

第1学年 生活科【R5 計画】

1 ブロック目標 「いのちプロジェクト低学年～いのちのあたたかさを実感する児童の育成～」

2 単元名 「きれいな はなを さかせたい」

- ・「そだてるはなをきめよう」「たねをまこう」
- ・「せわをしよう・せわをつづけよう」
- ・「さいたはなをたのしもう」
- ・「たねをとろう」
- ・「いままでをふりかえよう」

3 単元の指導計画と評価計画【全19時間】

時 【時期】 (時間)	目標	○学習内容・学習活動	評価規準 (評価方法)	研究テーマとの関り □いのちのあたたかさ
【5月】 そだてるはなをきめよう (2時間)	花をきれいに咲かせたいという思いをもって、育てたい花を決めることができる。	○育てる植物を決め、学習の見通しをもつ。 ・植物を育てた経験を話し合い、これから育てる植物を決める。 ・一人一人はアサガオを育て、学年で他の種類の花を育てる。 ・育てる種を観察し、気付いたことを紹介し合う。	イー② (発言・行動)	□こんな小さな種から、花が咲くのかと疑問を抱く。
【5月】 たねをまこう (2時間)	土づくりなどの準備をして、思いを込めて種をまくことができるとともに、自分なりに考えて、その様子を絵や文で表現することができる。	○種まきを行い、花への思いを高める。 ・土の深さや間隔に気をつけて種をまき、水やりをする。 ・育てるアサガオに自分で名前を付ける。 ・学年で育てる花の種をまく。	イー②(発言・観察カード) ウー①(発言・行動)	□種も命の卵だということを意識し、大切にまくことを通して、花への思いを高める。
【5～10月】 せわをしよう・せわをつづけよう (4時間)	世話をして発芽を待つことで花への思いを深めるとともに、発芽のしかたや子葉の形などに気付き、喜びとともに気付いたことを伝え合うことができる。 水やりや観察を通して、成長や変化に気付くことができる。成長に応じた世話のしかたがあることを知り、観察をもとに考え、愛着をもって	○植物の世話を通して、喜びや感動を共有する。 ・自分なりに工夫して関わり、世話をしていく中で、芽の出方や葉の様子を観察する。 ・本葉の数を数えるなど、以前と変わったところを見つけて、大きく成長した自分の植物の様子を観察する。 ・成長した植物は何をしてほしいのかを考え、支柱を立てることを計画する。 ・間引きした後にどうするかを相談し、家でも育てる計画をたてる。	アー①(発言・観察カード) イー①② (発言・観察カード)	□朝顔が成長する様子とともに感動し、喜びや感動の言葉を共有する。

	必要な世話をを行うことができる。			
【9月】 さいたはなをたのしもう (3時間)	自分が世話をしてきた植物の花が咲いた喜びを味わい、花を観察して特徴に気付いたり、植物に対して親しみを深め、花を使って思い出に残る作品をつくったりすることができる。	○開花の様子を見て、種まきの頃を振り返り、成長の喜びを感じる。 ・咲いた花の色や匂い、数を観察し、どのようにしたら咲いた花を残せるか考え相談する。 ・自分たちで考えた方法や教科書を参考にして、色水遊び、色水染め、たたき染や押し花などをする。	ア－①(発言・観察カード) ウ－①②(行動・発言)	
【8～10月】 たねをとろう (2時間)	一粒の種からたくさんの種ができる不思議さや生命のつながりに気付くことができる。土の中では根が伸びて、植物の成長を支えていたことに気付くことができる。	○一粒からたくさんの種ができたことや、命のつながり、根も植物を支えていたことに気付く。 ・種の付き方を見ながら、よく観察する。 ・収穫した朝顔の種を、学年で育てた花の種と比べてみる。	ア－①②(発言・行動)	□種によって生命がつながっていくことに気付く。
【11～12月】 いままでをふりかえろう (6時間)	育ててきた植物の種やつるなどで、思い出に残る作品をつくることができる。アサガオの種をどうしたいかを話し合い、考えることができる。生命のつながりをどのように活用していくかを考えることができる。自身の成長にも気付き、次の栽培への見通しをもつ。	○アサガオの成長してきた様子やそのときの気持ちを振り返る。 ・感謝の気持ちをもって、つるの活用を話し合い、リースやアクセサリーなど、作りたいものを作る。 ・育てた植物に感謝の気持ちを込めてカードや手紙をかく。 ・成長をどのように記録したいのか話し合い、じゃばらおりの本や紙芝居などにする。 ・たくさんの種をどうしたいか話し合い、新1年生や家族、祖父母などにプレゼントする計画をたてる。	ア－②(発言・行動) イ－①(発言・行動) ウ－②(発言・行動)	□植物には生命があり、世話を通して植物の一生について気付く。